

有害外来魚ゼロ作戦事業について

磯田能年（滋賀県農政水産部水産課）

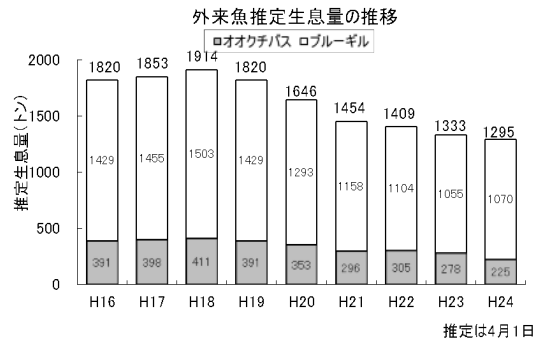
【はじめに】

外来魚駆除事業は昭和 60 年度から開始し、外来魚ゼロを目指し現在も引き続き積極的な駆除対策や繁殖抑制対策に取り組んでいる。平成 22 年度末に策定した「しがの農業・水産業新戦略プラン」（5 年計画）では、平成 27 年度末に外来魚推定生息量を 900t に抑制することを成果目標としている。

【外来魚推定生息量の推移】

外来魚の推定生息量は、平成 18 年 4 月には 1,914 トンであったが、平成 24 年 4 月には 1,295 トンにまで減少した。

年間 350 トン以上駆除すれば、平成 28 年 4 月には生息量 900 トンに達する見込み。



【漁業者による駆除】

昭和 60 年度から漁業者による駆除を開始し、平成 14 年度以降は年間 300～500 トンを駆除している。

◆外来魚駆除促進対策事業

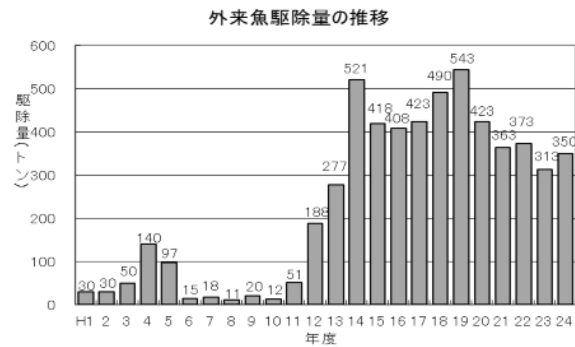
エリ、刺網（小糸網）、柵網などによる外来魚の捕獲駆除に経費補助（300 円/kg）を行っている。

年間駆除量：315 トン

◆外来魚繁殖抑制対策事業

オオクチバスの稚魚は、産卵床近くの水面付近を群れになって泳ぐ習性があり、それを利用してタモ網ですくい獲る。

年間駆除量：600 万尾



【電気ショッカーボート】

オオクチバス親魚の捕獲により、稚魚の発生を未然に防ぎ、在来魚稚魚の食害を予防するため、平成 24 年に「雷神」、平成 25 年に「いかづち」を導入し、駆除実証事業を琵琶湖南湖で実施している。

◆これまでの実績

上段：月別合計駆除量 下段：一回当たり駆除量（H25 11月末時点） 単位(kg)

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 10月 | 11月 | 3月 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-------|
| H24 | | | 1,944 | 333 | 1,520 | | 1,861 | 5,658 |
| | | | 139 | 166 | 109 | | 233 | |
| H25 | 2,331 | 2,893 | 2,540 | 129 | 493 | 686 | | 9,071 |
| | 233 | 207 | 159 | 129 | 82 | 76 | | |

【これからの課題と対策】

今後、生息量が減少するとともに、捕獲しにくくなることが予想される。そのため、生息量に応じた駆除手法の検討（新しい手法の開発、事業スキームの見直しなど）を行いつつ、外来魚ゼロを目指し駆除を継続する必要がある。